

第127回東北地方交通審議会
船員部会 議事要録

令和元年5月31日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会 第127回船員部会

日 時 令和元年5月31日(金) 13:30~

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理(欠席)

豊田委員(欠席)、森委員(欠席)

労働者委員 : 熊谷委員、高橋(雅)委員、津田委員(欠席)

使用者委員 : 勝倉委員、白幡委員、平岡委員

運輸局 : 畠山海事振興部長、丹藤海事振興部次長

佐藤船員労働環境・海技資格課長

柳田船員労政課長、鈴木専門官、渡邊労政係長

議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) その他

(資料)

- 資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(3月分)
- 資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料4 新規求人・求職数(全国)
- 資料5 有効求人・求職数(全国)
- 資料6 有効求人倍率(東北管内)
- 資料7 有効求人倍率(全国)
- 資料8 船員の特定最低賃金の改正に関する検討資料
- 資料9 2018年度水産高校等新規学卒者船員就職状況調査
- 資料10 新聞情報

◎開 会

【丹藤海事振興部次長】

〔第127回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料の確認〕

◎議 事

(1) 管内の雇用等の状況について

【高橋（真）部会長】

それでは、令和元年最初の会議の議事に入ります。

議事次第の「議題（1）管内の雇用等の状況について」、事務局からお願いいたします。

〔柳田船員労政課長から資料1から資料7に基づき報告〕

【高橋（真）部会長】

今の報告について、ご意見、ご質問等ありますか。

【高橋（雅）労働者委員】

資料1の3ページ目、商船の求人ですが、貨物船の近海と沿海が急激にふえているのは、新造船ができたことによる求人ですか。

【柳田船員労政課長】

特にこちらには、新造船等の情報は入っていません。

【高橋（雅）労働者委員】

内訳は分かりますか。

【柳田船員労政課長】

ここは内訳をとっていないので、来月示したいと思います。

(2) その他

【高橋（真）部会長】

では、来月、よろしく申し上げます。ほかにありますか。

なければ、ご了承いただいたものとし、続きまして、「議題（2）その他」に入ります。

初めに、資料8から9についての説明を、事務局から申し上げます。

〔柳田船員労政課長から資料8から資料9に基づき説明〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

現時点での最低賃金の改正に関する検討資料と、それから水産高校等の卒業生の船員就職状況ということでご報告いただきました。

最賃に関しては、毎年のことですが、諮問があったときにこれに対応する形で資料を提示してほしいという労働者側の意見があり、今現在の状況として、この資料が作成されたと思います。

また、船員就職状況調査に関しては、この部会で昨年検討をして、実際に船員を希望している数を分母にして何人就職が決まっているかということにしたほうがかえって実態がわかるのではないかというこの部会での話を受けて、事務局で新たに作成したものになります。

今の説明に関して、ご意見、ご質問等ありますか。

【高橋（雅） 労働者委員】

船員の特定最低賃金の改正についてですが、今回の資料の中で、東北の物価指数は全国と比べても少し高い状況であり、また、船員関係は内航もベースアップし、陸上関係もベースアップしているので、状況的には賃金上昇の傾向となっており、今年度においても、ぜひ審議を開いていただきたいと思います。

【高橋（真） 部会長】

今、労働者委員から、できればことしも最賃の諮問をお願いしたいと希望がありました。そのほかありますか。

【高橋（雅） 労働者委員】

水産高校の就職状況の調査の中で、宮城県水産高校の漁船で女性の方が1名就職していますが、これは家業ですか。

【柳田船員労政課長】

漁船の中には、漁業調査船や漁業実習船も入っているので、それかもしれません。

【高橋（雅） 労働者委員】

漁船といっても、一般的に漁船は敬遠されているので乗っていないと思います。多分、家業か、それとも練習船か調査船、そちらだと思います。

【高橋（真） 部会長】

この表を見ると、就職率はほぼ80%以上であるのに、宮古水産高校だけ57%と極端に低くなっています。これについて、宮古水産にその理由を聞いていますか。

【柳田船員労政課長】

特に聞いていません。

【高橋（真） 部会長】

この部会としては、船員希望者をふやしたいので、この表の卒業生数のところに、船員希望者の割合が何%かを入れると、もっとわかりやすいと思います。

つまり、この部会の趣旨は、卒業生の中で希望者をふやすことなので、その数字がわかることにより、ではどうやってふやしたらいいのかという話になると思います。

【柳田船員労政課長】

わかりました。

【高橋（真） 部会長】

よろしくをお願いします。

今の報告に対して、そのほか、ありますか。

なければ、ご了承いただいたものといたします。

それでは、次に委員の皆さんから情報提供をお願いします。

初めに、労働者委員からお願いします。

【高橋（雅） 労働者委員】

来月の7日ですが、東北地区における船員教育機関と海運・水産会社等関係者との懇談会を開催します。出席者数は55名で、水産高校関係の教育機関と海運・水産会社のマッチングというか、どうやったら学卒者の方々を船員に迎え入れられるかという内容の懇談会です。

【熊谷労働者委員】

いわき市の遠洋マグロ漁業会社の株式会社漁福の新造船の就航ですが、4月に就航した「第35漁福丸」に続き、もうかる漁業創設支援事業の認定を受け、三保造船で建造していた2隻目の遠洋マグロ漁船「第1漁福丸」479トンが完成し、今月15日に気仙沼港で披露されました。

「第1漁福丸」の特徴としては、省エネ改良型船で、船首が商船に見られるストレートバウと漁船のバルバスバウの長所を取り入れた、三保造船での新設計の「TM-フィッシャー・バウ」というものを採用し、垂直な船首は従来の遠洋マグロ船と違い、4%の省エネ効果と延縄がかからない特徴を持つとのこと。

なお、「第1漁福丸」は6月から実証事業を開始することとなり、6月3日、気仙沼港から西経漁場に向けて出港します。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。ほかにありませんか。

なければ、使用者委員からお願いします。

【勝倉使用者委員】

今の熊谷委員の気仙沼港での新船披露に関連しますが、当社勝倉漁業でも新造船が竣工し、昨日5月30日に新潟造船から引き渡しになり、6月9日に気仙沼で新船のお披露目会を行うことになっています。

各社とも様々な、省エネや労働環境の改善、そして安全性の向上という中で、この新しい「第127勝栄丸」も、高緯度操業を目的としているので徹底した安全対策と乗組員の労働環境の改善、そして生産効率の改善が行える船になっています。

また、現在、日本かつお・まぐろ漁協と全国遠洋かつお・まぐろ漁業者協会の2つで進められている同一仕様・同一船型の複数隻をシリーズ船で建造していくというプロジェクトが、今、三保造船と新潟造船で始まっています。三保造船では5隻のシリーズ船、そして新潟造船では3隻ということで、同じ図面、同じ仕様で複数隻つくることにより、船価を10%近く低減させるという考えのもと、来年の12月までの間に、当社の新造船と気仙沼で建造中のもう一隻も含めて10隻の新しい遠洋マグロ漁船が、でき上がる予定となっています。

さらに、同一船型・同一仕様の第2弾、第3弾についても、今検討されているということで、ここ5年ぐらいの間に業界全体では二十数隻の新造船が誕生する計画となっています。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

それでは、白幡委員、ありますか。

【白幡使用者委員】

先ほどのマグロ漁船の船首の設計ですが、従来のマグロ漁船との違いについてもう一度、教えて下さい。

【勝倉使用者委員】

先ほど熊谷委員が言った第1漁福丸ですが、かなり変わった船首部分の設計で、水面から下の部分のバルバスバウがなくて、ストレートに持ち上がっている船です。フェリーだとかこういう船首部がありました。漁船では、初めての設計なので、かなり珍しい形になっています。

【白幡使用者委員】

波に乗らないのでしょうか。

【勝倉使用者委員】

我々としては、ふだん見ている船型とはまるっきり違うので、かなり違和感があります。

【熊谷労働者委員】

バルバスバウへの縄掛りの心配がない船です。

【勝倉使用者委員】

また、水槽試験の結果、かなりの省エネ効果が新しい船型は出ているということで、その船型の変更だけで5%くらいの省エネになっているということです。

ただ、荒天の海域で航行するとき、従来の船は表側のフレアが反っているので、海水に突っ込むのを防いだり、水をはじくことができましたが、新しい船型だとそのフレアがないので、荒天操業時に、推進効率はいいとして、船の走りぐあいがどうなのかは、これからの実証となります。

そして、この1年間、実際には3年かけての実証事業ですが、この1年間の実証結果を見て水産庁では、次の船型にこの船型を採用するかどうか、検討していくということです。

【熊谷労働者委員】

漁場も西経漁場なので、それほど、しけるところではないが、そこに行くまではしけもあるので、その辺の結果だと思います。

【高橋（真） 部会長】

わかりました。ありがとうございます。

では、平岡委員。

【平岡使用者委員】

鉄鋼大手の日本製鉄は、2019年の内航運賃を1%から2%値上げしました。これを受けて、元請けオペレーターの日鉄物流は、499総トン型の貨物船の用船料を1%から1.5%、月額10万円から15万円値上げしました。理由は、船員給料上昇のためということです。同社の用船料は昨年4月に月額30万円、10月には25万円、それぞれ値上げをしており、1年余りで月額65万円から70万円の値上げをしたこととなります。

船員不足を解消するためには、運賃並びに用船料の改定が不可欠であります。両社は内航海運のプライスリーダーなので、他の荷主、オペレーターに波及することを期待したいと思います。

【高橋（真） 部会長】

そのほかありますか。

なければ、本日の議事はこれで終了といたします。

次回は、6月21日金曜日の13時30分から、会場はここ4階会議室で開催いたします。

◎閉 会